

令和5年度 社の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	51	学校名	仙台市立幸町小学校	校長名	武田 芳典
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のテーマ「考えよう わたしたちにできること」



2 取組の紹介

(1) 第5学年 【総合的な学習の時間】

- 「環境問題について調べよう・考えよう」(写真①)

SDGsとの関連 13, 14, 15

泉岳での野外活動で、自然と触れ合った経験を基に、環境問題について調べ学習を進めた。関心がある事柄について、情報収集・整理・分析を行い、発表会を行った。自分たちが生活の中で取り組めることについても考えることができた。



(2) 第1・2・3・4・6学年 【書写】【図画工作科】【社会】

SDGsとの関連「12 つくる責任 つかう責任」

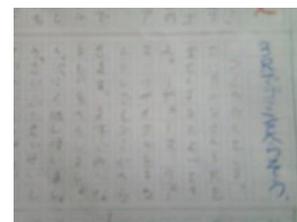
- 「習字や水彩画の授業後の汚れた水を減らそう」(1・6年)(写真②)
 - ・筆洗バケツまたはペットボトルに入れた最小限の水で洗う。筆とパレットはティッシュで拭き取る。
- 「紙や不要な衣服を再利用しよう」(2・3年)
 - ・図工の工作で出た不要な紙を資源ごみに出したり、家庭の不要な衣服で造形作品を作ったりした。
- 「ごみのしゅりと利用」(4年)(写真③)
 - ・松森清掃工場見学などを通して、「ごみのゆくえ」について学習し、ポスターや新聞をかいた。



写真② パレットの拭き取り



写真③ ごみの分別



(3) 第1・2学年 【生活科】

- 「アサガオ/サツマイモのつるでリースを作ろう」

SDGsとの関連「11 住み続けられるまちづくりを」

- ・アサガオの種やサツマイモを収穫する際に切り取ったつるを活用して、「つるリース」を制作した。(写真④)



写真④ リースづくり

3 取組の成果(児童生徒の変容)

- ・互いの発表を聞き合うことで、自身が知らなかった諸課題の内容について知見を広げるとともに、環境保全や日常生活の工夫など、環境問題を多角的に捉えることができた。
- ・書写や図画工作の学習では、ごみの減量や節水の大切さを教材にすることで、身近な生活の中での工夫や再利用について考えさせ、環境問題を多角的に捉えさせることができた。
- ・自分で植えたアサガオを継続的に世話し、観察することで、花の開花や種の収穫の喜びを味わえた。